

4. 地域活動の管理

小集団

前章までに、地域活動の内容や体制作りについて説明してきましたが、ここでは、地域活動が実効的・継続的に行われるようにするための管理の仕方について説明します。

活動の計画立案～実施

地域活動の計画立案にあたっては、次のようなことを推進チーム内で具体的に決めてもらいます。

- | | |
|---------------------|------------|
| ・活動の目的・目標（今年のスローガン） | ・いつ（何月に） |
| ・誰が（推進チームのメンバーが） | ・どこで（座談会で） |
| ・何を（ヒヤリ・ハットのアンケートを） | |

このような計画は、具体的に文章化し、推進チーム内で共有化することが重要です。そうでないと、日頃の農作業の忙しさのせいで実施が後回しになったり、実施し忘れたり、といったことが発生します。

活動の振り返り

地域活動は、やりっぱなしではいけません。計画に沿って実施されているかを点検し、結果はどうだったかを推進チーム内で振り返ることが重要です。

計画通りに実施できなかつたり、結果が思わしくなかった場合はその原因を調べます。よくある原因としては、

- ・計画が十分に推進チームのメンバーに伝わっていなかった
- ・実施するときに予想外の問題が発生した

といった実施段階での問題や、

- ・そもそもの計画の内容が抽象的であった

というように計画段階の問題もあります。

活動の振り返りの機会に、これらの原因をきちんと把握するようにします。

地道な継続

地域活動は1、2年間で終わりというものではありません。地道に継続することで、「事故件数の減少」といった成果が出るものです。最初は成果が出ないと思うかもしれませんが、地道に続けて継続的に改善して行くことで地域の一体感・連帯感が高まり、徐々に事故が起こりにくい地域になっていくはずですよ。

計画立案のイメージ

1年間の地域活動の計画を立案する際には、以下のようなイメージで活動の具体的な内容・実施時期を文章化し、推進チーム内で意識統一を図るとよいでしょう。

農作業安全		集落の今年のスローガン	
昇降路、走行中のトラクターで、ブレーキ連結ロックの掛け忘れをなくそう！			
2011年	活動項目・内容	メンバー	備考欄
1月	危険箇所の調査	メンバー全員 JA 山田さん	調査対象：北地区
2月			
3月	座談会（3月第1週）	メンバー全員	[座談会での報告内容] ・スローガンの周知・徹底 ・危険箇所の調査結果 ・前年の事故発生状況（市を通じて事前に情報入手）
4月			
5月			
6月	危険箇所の改善	メンバー全員 JA 山田さん 市 田中さん	冬の調査結果を踏まえ、注意喚起板の設置等、必要な対策を実施
7月			
8月	座談会（8月第1週）	メンバー全員	[座談会での報告内容] ・スローガンの周知・徹底 ・危険箇所の現状、改善実施結果、今後の対策の予定
9月			
10月			
11月	推進チーム会合（12月第1週）	メンバー全員	[議事] ・年間の活動の振り返り ・集落内での事故の有無・内容の確認 ・来年のスローガン、計画の決定 ・来年のチーム体制の確認
12月			